

# 第59回北海道肢体不自由教育研究大会

## 網走大会（二次案内）

- 1 期 日 令和5年1月11日（水）
- 2 会 場 北海道網走養護学校（公開授業校）
- 3 主 催 北海道肢体不自由教育研究協議会



- 4 後 援 北海道教育委員会 札幌市教育委員会  
 全国特別支援学校肢体不自由教育校長会  
 北海道特別支援学校校長会  
 北海道特別支援学級・通級指導教室設置学校長協会
- 5 事務局 北海道旭川養護学校



- 6 研究主題 『新しい時代の特別支援教育の推進に向けて』  
 ー全ての子どもたちの可能性を引き出す、  
 個別最適な学びと、協働的な学びの実現ー

- 7 日 程 （1日開催 \* 8 : 45 受付開始 \* 9 : 15 開会 \* 15 : 50 閉会 ）

【 令和5年1月11日（水） 】

8:45~	09:15~	09:30~10:30	10:40~11:50	11:50~12:50	12:50~14:00	14:10~14:30	14:35~15:45	15:50~	16:05~
受付 接続 開始	開会式	公開授業配信	実践発表1 (理事4校) 2実践×2分科会	昼食 (動画配信) ・教材教具 ・ポスター発表	実践発表2 (理事4校) 2実践×2分科会	ポスター 発表の講評 (視学官より)	講演会	閉会式	総会

- 8 講演会 （14:35~15:45）

『特別支援教育の動向と肢体不自由校への期待』～個別最適な学びと協働的な学び～  
 文部科学省初等中等教育局 視学官（併）特別支援教育調査官 菅野 和彦 氏

- ・文部科学省からオンラインでご講演いただきます。
- ・資料は事前に、大会専用ホームページより各自でダウンロードしていただく予定です。

- 9 公開授業配信・研究協議 （9:30~10:30）

- ・北海道網走養護学校の授業を2本、動画にて配信します。
  - (1) 授業①【授業動画15分+質疑応答5分】
  - (2) 授業②【授業動画15分+質疑応答5分】
  - (3) 授業についての講評・助言 20分

- ・助言者  
 北海道教育庁 学校教育局 特別支援教育課 特別支援教育指導係指導主事 林部 直人 氏  
 北海道立特別支援教育センター 教育課 肢体不自由・病弱教育室長 奥田 裕幸 氏

※当日は15分程度に編集した授業動画を配信しますが、編集のない授業動画につきましても事前に参加者の皆様が視聴できるように、YouTubeに限定公開で配信する予定です。URLやQRコードにつきましては、大会ホームページ（12月開設予定）や北肢研会報にてお伝え致します。

10 実践発表 (前半10:40~11:50 後半12:50~14:00)

- ・Zoomのブレイクアウトルーム機能を活用した分科会形式での発表を行う予定です。
- ・実践発表8本(予定)をテーマに基づき4つの分科会に分け、午前の【実践発表1】の時間に4つの実践発表を2つの分科会で、午後の【実践発表2】の時間も午前同様に発表を行う予定です。
- ・各実践発表のタイムスケジュールは以下の通りで検討中です。

・第1分科会：(15分)―質疑①(10分)―助言①(10分)	実践発表1本35分間	2本で70分間
・第2分科会：(15分)―質疑②(10分)―助言②(10分)	実践発表1本35分間	2本で70分間

・助言者

北海道教育庁 学校教育局 特別支援教育課 特別支援教育指導係指導主事 林部 直人 氏  
 北海道立特別支援教育センター 教育課 肢体不自由・病弱教育室長 奥田 裕幸 氏

※団体で申込みをされている学校につきましては、二つの分科会の映像が視聴可能となるように、校内に2つの会場を御用意下さい。

※個人で参加される方は、それぞれの端末にて、ご自由に各分科会の発表をお聞き下さい。前後半でのルームの出入りも自由です。

【実践発表一覧】

分科会	実践発表テーマ	発表者名
第1分科会 キャリア教育	小学部での自立を見据えた学習の取り組み ～生活の中で生きる力を育てる視点 1年目の取り組み～	真駒内養護学校 杉浦 朋子 教諭 皆川 悦子 自立活動教諭
	卒後の生活環境を見据えた指導について ～キャリア教育の視点とトイレ環境の工夫～	拓北養護学校 小島 貴人 自立活動教諭 天野 翔太 教諭
第2分科会 主体的な学び	児童の自己選択・自己決定を引き出す授業づくり 一物の永続性と主体的な手の動きを中心とした学習を通して～	手稲養護学校 小田 亨 教諭
	笑顔になれる学びの充実 ～ICT 機器で笑顔をつなげる指導～	豊成支援学校 三木田 和基 教諭 横山 千里 教諭
第3分科会 自立活動	個別の指導計画における自立活動の目標設定のためのプロセス 活用の効果と課題 職員間での情報共有と実態把握からの目標設定	網走養護学校 折 明宏 教諭
	重複障害のある児童生徒を対象とした教科学習と自立活動の繋がり ～カリキュラムマネジメントを意識した実践に向けて～	函館養護学校 菊池 祐子 教諭
第4分科会 指導や支援の 充実	生徒の輝く姿のために ～関わりを工夫した軌跡(行事を節目に)～	旭川養護学校 佐藤 雄太 教諭
	個別の配慮を大切にした支援方法及び教材教具の工夫 ～教科間での生徒の実態の共有を通して～	岩見沢高等養護学校 三井 隆行 教諭 和泉 友紀子教諭

11 教材教具展/ポスター発表 (11:50~12:50)

- ・昼食休憩やその他の時間にいつでも自由に視聴できるよう、道内肢体不自由特別支援学校10校による教材教具紹介及びポスター発表の動画をYouTubeに限定公開で配信する予定です。一本につき5分程度で考えています。
- ・なお、こちらの動画につきましては、当日より1ヶ月程度、YouTubeにて視聴可能とする予定です。
- ・ポスター発表につきましては、道内特別支援学校肢体不自由教育校10校の校内研究や教育課程の改善に関する取り組みについて発表します。ポスター及び集録用原稿を作成していただく予定です。

【ポスター発表一覧】

	ポスター発表タイトル	発表者
1	『主体的・対話的で深い学び』を意識した授業のイノベーション ～令和4年度・5年度の研究主題～	岩見沢高等養護学校 成田 智志 教諭
2	社会に開かれた教育課程の実現に向けた授業の基盤づくり ～ICTの効果的な活用と自立活動の視点を深める～	真駒内養護学校 鈴木 隆美 教諭
3	令和4年度本校校内研究「つながり」に着目した授業実践と授業改善 ～年間指導計画の活用による指導の充実～について	手稲養護学校 近藤 幸雄 教諭
4	児童生徒のよさや可能性を引き出すための授業作り ～年間指導計画の改善を通して～	拓北養護学校 三浦 正明 教諭
5	各教科等で育成を目指す資質・能力を育む観点からの授業づくり	函館養護学校 千葉 光彦 教諭
6	子どものよさや可能性を引き出す自立活動と各教科等との関連を意識した 指導の充実を目指して ～自立活動の年間指導計画を活用した授業改善～	旭川養護学校 土居 新子 教諭
7	ICT機器を活用したコミュニケーションの拡大について ～児童の個別最適な学びと、協働的な学びの実現について～	網走養護学校 岩田 桃子 教諭
8	「何を学ぶか」と「どのように学ぶか」の先で「何が身に付いたか」の検証 ～「何ができるようになるか」に着目した授業改善を通して～	白糠養護学校 吉田 遼太郎 教諭
9	児童生徒一人一人の可能性を拓き、笑顔で歩むための学びの充実	豊成支援学校 沓澤 みか子 教諭 中村 大二郎 作業療法士
10	関係各部・委員会の取組が連動した教育課程の改善を目指して	北翔支援学校 佐藤 淳洋 教諭

1.2 ポスター発表の講評 (14:10～14:30)

- ・ポスター発表の内容について、菅野視学官より講評をいただきます。

1.3 大会参加費

会 員…参加費無料（研究集録は年会費に含まれます）

非会員…参加費無料（研究集録を希望される方は500円を徴収いたします。3月発行予定。）

1.4 大会参加の方法

- ・北肢研大会（網走大会）は、オンラインにおいて開催します。
- ・個人や学校で Zoom に接続して参加してください。  
※個人で自宅やその他の場所から接続し、参加される方につきましても、校外研修の扱いとなります。
- ・有線 LAN 接続のパソコンでの参加を推奨します。
- ・Zoom による接続方法は、参加者にメールで連絡します（12月下旬を予定しています）。
- ・12月に大会専用ホームページを開設します。開催要項および資料、各動画の URL・QR コードは、専用ホームページより各自で事前にダウンロードをお願いいたします。（参加者にのみ、ダウンロードページのパスワードをお知らせします。）

1.5 大会参加の申し込み方法

- ・別紙 参加申込書に必要事項を記入の上、事務局にメールまたは FAX で送信してください。
- ・できるだけ学校単位での申し込みをお願いします。
- ・申し込み先

北海道旭川養護学校 TEL (0166) 51-6507 / FAX (0166) 51-6507

北肢研事務局長 舟 田 和 彦 Mail : [funada.kazuhiko@hokkaido-c.ed.jp](mailto:funada.kazuhiko@hokkaido-c.ed.jp)